

編 集 後 記

皆様、こんにちは。副編集委員長の三澤園子です。今年も年の瀬が近づいて参りました。皆様にとってはどんな一年だったでしょうか？きっと多くの新たな発見と学びと成長があったことと思います。

さて、この12月に予定されています、「臨床神経学」の二つの大きな変更を、皆様にお知らせ致します。まず、ホームページがリニューアルされます。トップページでは最新の論文のFigureがどんとハイライトされるようになります。最新の研究成果をより直感的により印象的に、ご理解をいただけるデザインです。ぜひトップページへの掲載をイメージしつつ、論文のご執筆を楽しんで頂ければと思います。また、論文のレイアウトも新たなデザインに生まれ変わります。明るく洗練されたスタイルは、皆様の読みやすさを一番に考えました。

長い歴史のある「臨床神経学」の変化に寂しさを感じる先生方も多くいらっしゃると思います。皆様により愛されそして成長する存在になることを目指してのリニューアルです。ぜひ応援をお願いします。また移行までの期間に、長年親しんできたデザインも再びご覧をいただければと思

います。そして、リニューアルされた臨床神経学に、皆様からのさらなる積極的なご投稿をお待ちしております。

最後になりますが、今年も大変お世話になりました。今年も多くの貴重な症例報告と総説などを皆様からご投稿頂きました。会員のご支援により本誌は成り立っております。心より感謝申し上げます。引き続きこの学会誌が、皆様の臨床、教育、研究の一助となるよう、編集委員一同努めて参ります。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(ちなみに…、本編集後記の初稿は自らのAI活用トレーニングのために、Chat-GPTに執筆してもらいました。私のプロンプトの書き方が今一つなのか、なんとも「AI」っぽい表現(「洗練されたスタイルは、読む喜びを一層深めてくれるに違いありません」など)が続出しておりました。全面書き換えを行い、最終的には「三澤園子」っぽくなりました。10%程度、Chat-GPTくんが残っております。どこだろう？と探して頂くと言う頭の体操も、お時間をごぞいましてらお楽しみください。ところで「AI」っぽさってどう定義できるんでしょうね？)

(三澤 園子)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長	小野寺 理	編集副委員長	三澤 園子
編集幹事	石浦 浩之	漆谷 真	杉江 和馬
編集委員	今井 富裕	木下 真幸子	古賀 政利
	下畑 享良	鈴木 匡子	辻野 彰
			坪井 義夫
			中嶋 秀人
			新野 正明

「臨床神経学」	第63巻 第12号	2023年12月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		西 山 和 利
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>